

## 市民会議からの提言

第5次総合計画の策定にあたり、市民が普段感じている想いを計画に反映させるため「市民会議」を全4回開催し、25人の公募市民のみなさんにご参加いただきました。

市民会議は「みんなで語り考えよう 貝塚市のまちづくり」をテーマとし、市民のみなさんが普段感じている本市の良いところや良くないところ、10年後どんなまちになってほしいかなど、具体的な提案を行っていただきました。

### 私たちの「まち」の良いところ

地域のつながり  
助け合いがある

学校と地域との  
つながりが強い

海や山 身近に  
触れ合える自然がある

歴史・文化施設や  
古いまち並みがある

「ものづくり現場」  
二色の浜産業団地がある

市内中央を縦断する  
水間鉄道がある



市民のみなさんが、本市が持つ地域の様々なつながりを大切に感じていること、また、自然や歴史をはじめとした本市独自の資源が豊富にあると感じていることが伺えます。

### 市民会議が提言するまちの将来像

- 車がなくても誰もが暮らせるまち
- 子育て層とシニア層が共に支えあえるまち
- 人の絆が地域を生かすまち
- 子どもも高齢者も安心して暮らせるまち
- 地域で防犯・防災ができるまち
- 誇りを持てるまち
- 歴史・文化施設を生かし、未来につなげるまち
- みんなの心が通いあうまち
- 教育ナンバーワンのまち



人口減・少子高齢化社会へと移行する中、地域資源やつながりを生かし、貝塚らしい穏やかなまちでありながら、希望を持って暮らせる活力のある貝塚市であることが望まれています。



## II 基本構想

## 1 まちづくりの視点

### 視点1：人と人のつながり

本市は、願泉寺を中心とした寺内町を含む海岸沿いから、市を縦貫する近木川に沿って山手地域まで集落が形成され、各集落はそれぞれの文化を持ったコミュニティを築いてきました。歴史的に形づくられた地域のつながりは、地域団体の様々な活動やだんじり、太鼓台といった伝統行事等に見られるように「みんなでまちを動かしてきた」歴史が現代にも受け継がれていると言えます。

本市が持つこのような「地域の強いつながり」を、子育て、教育、福祉、環境などあらゆる施策に最大限に生かし、市と市民、団体、事業者などが一体となって、地域の発展につながる取組みを進めます。

### 視点2：貝塚らしさの追求

市民にとって住みやすく、魅力的なまちをつくるためには、市民が主体性を持ってまちづくりに取り組むことが必要です。

豊かな自然や特徴ある歴史・文化など、市民が大切に思う「貝塚らしさ」にさらに磨きをかけ、市民の本市への愛着を深めていくことが、まちの魅力をさらに高めていくことにつながります。

こうした魅力を観光資源として広く発信することで、にぎわいがありながら、「そこそこ都会 それなりに田舎」という住環境を最大限に生かす「貝塚らしい」まちづくりを進めます。

## 2 まちづくりの方針

まちづくりの2つの視点を結びつける、総合計画の方針を定めます。

**魅力かがやき 未来へつなぐまち 貝塚**

本市が従来持つ魅力をさらにかがやかせ、人と人のつながりを生かしながら、子どもたちが夢と希望を持って大きく成長できる未来へとつながるまちづくりを、市民とともに進めます。

## 3 まちの将来像

まちづくりの2つの視点を基礎とし、まちづくりの方針を具体化するため、次の4つの「まちの将来像」を掲げます。

**将来像1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち**

**将来像2 誰もが地域で健やかに ともに支え合うまち**

**将来像3 みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち**

**将来像4 ひとと地域の資源を生かし にぎわいを生み出すまち**

また、将来像を実現するための仕組みやすべての分野に共通する考え方である「推進方策」を次のとおりとします。

**推進方策 市民とともに 紡ぐ まちづくり**

市民・団体・事業者・行政を多数の糸に例え、それらが寄り合わさり、協働してまちを創り上げることから、推進方策を「市民とともに 紡ぐ まちづくり」とします。

また、紡績業とともに発展した本市にふさわしい、まちづくりを表す言葉として「まち紡ぎ」と呼び、今後、市民と協働してまちづくりを進める上での基本姿勢とします。



## 4 将来像実現のための政策

将来像を実現するための分野別政策を、次のとおり定めます。

### 将来像 1

#### 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち

今、求められていること

本市では、保育所・学童保育の整備や子ども医療費助成の対象拡大などの子育て支援、小中一貫教育や「貝塚学」など独自性のある学校教育に取り組んできました。

子育てや教育に必要とされるものが多様化している中、家族のつながりを核としながら地域で安心して子育てができ、心豊かな人間を育むこと、また、生涯学習などを通じて、ふるさとに愛着を持ち、地域社会を担う人材を育てることが求められています。

10年後に実現したい姿

子育て支援策が市民の力も借りながらよりきめ細やかなものとなり、安心して子育てができる環境の整備が進んでいます。家庭や地域では教育力がさらに向上し、学校と手を携えて子どもたちの教育に取り組むことで、子どもたちが夢を持ち、貝塚のことを誇らしく語ることができる環境となっています。また、自主的な生涯学習の場づくりが進み、地域課題の解決や、地域コミュニティの活性化に自ら取り組むことができる人材が育成されています。

将来像実現のために取り組むこと

- 市民と市が力を合わせた、安心して子育てができる環境づくり
- 確かな学力と豊かな心を育み、生きる力を育成する教育環境づくり
- 地域コミュニティの活性化につながる、学びや文化・スポーツ活動の体制づくり

#### 市民の意見～市民会議からの提言～

##### まちの良いところ

- 学校を支える親たちの団結力が強い。
- 学校と地域のつながりがある。
- 多様な自然に近く、子育てに良い環境がある。
- 善兵衛ランド、自然遊学館など体験型施設がある。
- 子育て活動に携わるグループが多い。
- 公民館活動が活発に行われている。

##### まちの将来像

- 教育ナンバーワンのまち  
家庭、地域、学校の連携を深める。  
生きる力を育てる。就学前の家庭教育や地域教育を考える。
- 子育て層とシニア層が共に支えあえるまち  
元気な高齢者が地域で子どもと一緒に学ぶ場をつくる。
- 誇りを持てるまち  
貝塚市を知り、愛する心を育てる教育を行う。

### 将来像 2

#### 誰もが地域で健やかに ともに支え合うまち

今、求められていること

本市には長年受け継がれ、成熟した地域コミュニティが数多く存在し、それぞれが地域のニーズに応じて独自の方法で支え合う取組みを行っています。少子高齢化や経済成長の低下など、社会が新たな局面を迎える中、多様な市民ニーズや複合的な課題に対し、公的な制度だけではそれらを支援し、解決することが困難になりつつあります。

10年後に実現したい姿

公的な福祉サービスが適切に運用されるとともに、町会・自治会や地区福祉委員会など地域コミュニティを担う団体や新たなニーズに応える人々の活躍など、多様な団体の協働や住民同士の支え合いによって、安心して暮らせる地域となっています。支援を必要とする方が、住み慣れた地域で自分らしく、尊厳のある生活を送ることができるまちづくりが進んでいます。

将来像実現のために取り組むこと

- 地域の担い手としての意識の醸成
- 健康づくり、福祉に関する地域活動への参加促進
- 公的福祉サービスの適切な運用と良質な医療の提供

#### 市民の意見～市民会議からの提言～

##### まちの良いところ

- 貝塚市の住民は話やすく、ボランティアに活動力がある。
- 町会・自治会の活動が活発である。
- 地域や近所のつながり、助け合いがある。
- 福祉・医療施設が充実してきている。
- 子育て活動に携わるグループが多い。

##### まちの将来像

- 子どもも高齢者も安心して暮らせるまち  
見守り活動を充実させる。  
高齢者や子どもが地域で気軽に集まれる居場所をつくる。
- 人の絆が地域を生かすまち  
地域で困った人がいれば、すぐに手助けできる人材を育てる。
- みんなの心が通いあうまち  
市民活動やボランティアなど団体間のつながりをコーディネートする。  
商店街や空き家などに気軽に集える場所をつくる。

### 将来像 3

## みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち

今、求められていること

本市では、消防団や自主防災組織の体制充実、公共交通機関の利便性向上など、市民生活の安全性及び快適性の向上に努めてきました。人口減少・高齢化が進行する中、市民との協働による防犯・防災対策や、消防・救急体制の強化、インフラを含む施設や建物の耐震化など災害に強いまちづくりが求められています。また、住環境や公共交通機関の利便性を向上させつつ、環境への負荷が少ない地球にやさしい社会づくりが求められています。

10年後に実現したい姿

防犯・防災対策、環境政策、公共交通及び公共施設の管理など、市民生活の基盤となるまちづくりにおいて、既存の施設、体制及び地域コミュニティなどを有効に活用し、子どもから高齢者まであらゆる世代の人々が安全で安心して快適に暮らすことができるまちになっています。また、「こういう地域でありたい」という市民の願いを実現する取組みを市が支援し、両者の協働により地域が発展しています。

将来像実現のために取り組むこと

- 危機管理意識の向上と共助の関係づくり
- インフラを含む施設・建物の耐震化・長寿命化
- 公共交通機関のさらなる利用促進
- 衛生的で地球にやさしい生活環境づくり

### 市民の意見～市民会議からの提言～

#### まちの良いところ

- 水間鉄道が市内中央を縦断して走る。
- 自主防災組織率が高い。
- 町会活動などで身近に地域の絆を深める場がある。
- 貝塚市の住民は話しやすく、ボランティアに活動力がある。

#### まちの将来像

- 車がなくても誰もが暮らせるまち  
水間鉄道やコミュニティバスの利用を進める。
- 地域で防犯・防災ができるまち  
災害弱者の方を地域で把握し、災害時には助け合う。
- 人の絆が地域を生きすまち  
地域で困った人がいれば、すぐに手助けできる人材を育てる。

### 将来像 4

## ひとと地域の資源を生かし にぎわいを生み出すまち

今、求められていること

本市には、南海本線と接続し市内を縦断する水間鉄道や、駅から近い寺内町周辺の古いまち並みなど、魅力的な資源が多数存在しますが、十分に知られていないのが現状です。地域の自然や歴史、文化といった本市の魅力ある資源を活用し、まちのにぎわいを創出することが求められています。また、雇用の場の確保や創業支援を通じて、若者の定住を促進することが必要です。

10年後に実現したい姿

関西国際空港近接という立地条件や、地域が持つ自然や人的資源、長年培われてきた歴史文化資源を活用することで、その魅力が全国に発信され、多くの人々が行きかい、にぎわいにあふれたまちとなっています。また、技術力を生かした付加価値の高い特産品の開発や、起業を促すことで産業が活性化し、若者の雇用の場が確保されています。

将来像実現のために取り組むこと

- 自然・歴史資源の効果的な活用、貝塚の魅力の発信
- 貝塚独自の産業の振興、ブランド化とPR
- 雇用拡大、起業支援、後継者育成による若年層の定着

### 市民の意見～市民会議からの提言～

#### まちの良いところ

- 二色の浜、水間寺など豊かな自然と歴史文化がある。
- 寺内町などの古いまち並みや、希少となったノコギリ屋根の工場が残っている。
- 海から山まで続く環境に恵まれており、身近に自然と触れ合える。
- まだ開発されていない土地がある。
- 水間鉄道が市内中央を縦断して走る。

#### まちの将来像

- 歴史・文化施設を生かし、未来につなげるまち  
観光・イベント情報や四季折々の貝塚の風景を、リアルタイムに発信する。  
伝統的な祭りや風習を大切に、若い世代に伝える。
- 誇りを持つまち  
若い人が集まり、まちの活性化などを考えて活動できる場所をつくる。  
市の花・コスモス、市の木・カツカイクビを市内に増やし、市のイメージをアピールする。

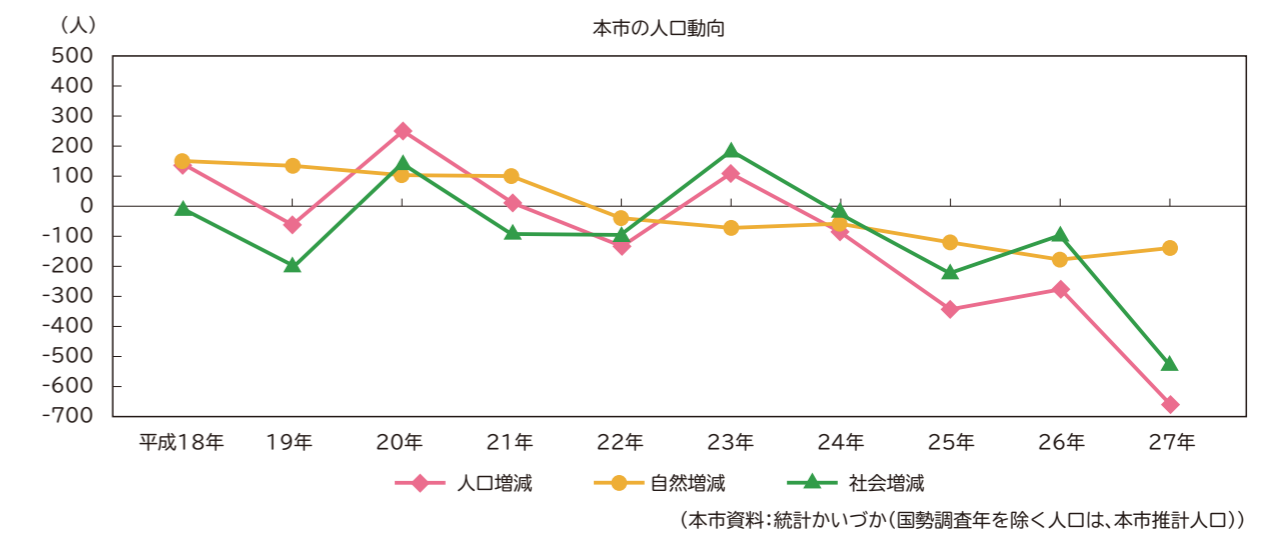


## 5 目標人口

概ね 87,000 人

○平成 22 年（2010 年）から死亡者数が出生者数を上回る自然減が続いており、今後もその傾向は続くと考えられます。  
 ○転入と転出の差である社会増減は、平成 18 年（2006 年）から 27 年（2015 年）の 10 年間で増減を繰り返しており、近年は減少傾向にあります。

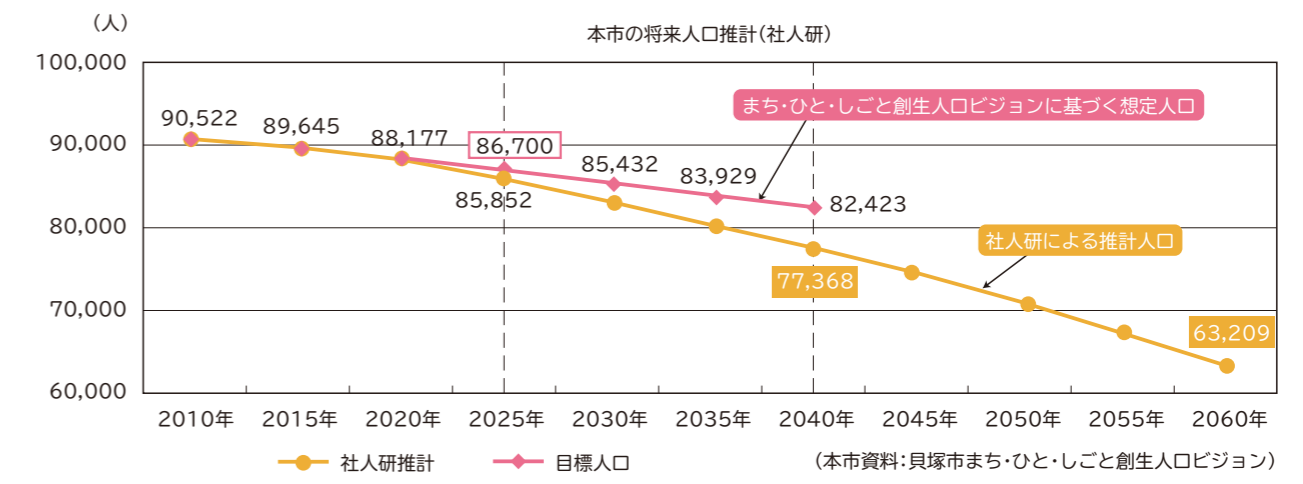
■本市の人口動向



○将来目標人口は、貝塚市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンに基づき、出生率の向上や転出入均衡の各種施策に取り組むことで人口減少を抑制し、さらなるまちの活性化を図ることで、平成 37 年（2025 年）人口を概ね 87,000 人とします。

※国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」では、本市の平成 37 年（2025 年）人口は、現在の人口移動（社会減）が続いた場合は 85,852 人となっている。

■本市の将来人口推計（社人研）



### 推進方策

#### 市民とともに 紡ぐ まちづくり

今、求められていること

人口減少に歯止めをかけ、「貝塚市に住んで良かった」「住み続けたい」と実感できる地域社会を実現するためには、個性豊かで活力に満ちたまちづくりを進める必要があります。市民と行政が信頼で結ばれたパートナーシップを築き、様々な主体の協働により、地域の実情に即した施策を大胆に展開していくことが求められています。

10年後に実現したい姿

市民とともに進める、わかりやすく、開かれた市政運営により、地域を活性化する効果的で効率的な施策が推進され、それを支える健全な財政基盤が確立されています。また、市民の良きパートナーとしての役割を担う職員が育成されています。あらゆる分野において市民とともに考え、時代のニーズに対応した未来へつながるまちづくりが展開されています。

将来像実現のために取り組むこと

- すべての人々が尊重される地域社会の実現
- わかりやすく開かれた市政の運営
- 人材育成と市民協働の推進
- 効果的で効率的な行財政運営の確立

#### 市民の意見～市民会議からの提言～

##### まちの良いところ

- 祭礼等による結束力が強い。
- 町会活動などで身近に地域の絆を深める場がある。
- 貝塚市の住民は話しやすく、ボランティアに活動力がある。

##### まちの将来像

- 人の絆が地域を生きすまち  
市民が培ったノウハウを生かし、まちづくり活動に参加する。
- みんなの心が通いあうまち  
多くの市民が参加できるイベントを開催する。
- 誇りを持てるまち  
地域で貝塚の歴史や文化について話す機会や見学会を行う。